

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	×	×	×	×
水痘（水ぼうそう）	×	×	×	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	△	×	×
手足口病	×	×	×	×
ヘルパンギーナ	×	×	×	×
咽頭結膜熱	△	△	△	×
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	△	△	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	×	×	×	×

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 症状 発熱・のどの痛み・腹痛・発疹・莓舌※・吐き気

これらの症状が全てあらわれるわけではなく、人により症状は異なりますが、高熱、のどの痛みが出て、扁桃腺が腫れ、その後、全身に発疹が出たり、舌にイチゴのようなブツブツが現れるのが特徴です。

※莓舌...舌の表面に赤いブツブツができること。

◇予防策

- ・せっけんでの手洗い、うがいをしよう
- ・タオルや食器などは別々に使用しよう
- ・外出時はマスクを着用しよう



咽頭結膜熱

* 症状 潜伏期間は2～14日

- ・咽頭炎（のどの痛み）、結膜炎（目の充血）、39℃前後の発熱（数日～1週間）
- ・頭痛、食欲不振が3～7日続く
- ・目やに、涙が多くなる、まぶしがる

◇予防策

咽頭（のど）から2週間、便から30日間ウイルスが排出されますので、おむつなどの交換後に汚染された手指を介して感染が広がります。そのため、おむつの取り扱いにも十分に注意して、おむつ交換後の流水・石けんによる手洗いの実施が重要です。また、目やにが感染源となるため、ハンカチやタオルではなく、ティッシュなどの使い捨てのものでふき取ってすぐ捨てましょう。さらにタオルなどは、家族と別のものを使うようにしましょう。